

第11回母乳育児支援を学ぶ九州教室

●日時

2月7日(土)9:45~16:30

●会場

福岡市健康づくりサポートセンターあいれふ 10階講堂
(福岡県福岡市中央区舞鶴2-5-1)

●定員

120名

●プログラム

「感染と母乳育児」「安全で意義ある早期接触を考える」奥起久子(新生児科医・IBCLC)

「祖父母への母乳育児支援教育」
「これがわかるとうまくいく! 乳腺炎の支援のコツ」菅原光子(助産院イスキア院長, IBCLC)

●参加費

当日支払, 1月30日以降の振込5000円

学生(看護系の学生とし、学生証を提示)2500円

*継続教育単位(5.25単位を予定)発行手数料(500円)は別途。

●申し込み方法

①氏名(フリガナ, ローマ字表記を併記), ②住所, ③連絡先(電話番号, メールアドレスなど必ず連絡のつくもの), ④勤務先, ⑤職種, ⑥継続教育単位必要の有無, ⑦お子さま連れの有無とお子さまの年齢, ⑧キャンセル待ちをされるかどうかをご記入のうえ, 件名を「第11回申し込み」として, kyuusyuukyousitumousikomi@yahoo.co.jp まで, e-mailにてお申し込みください。

●問い合わせ先

母乳育児支援を学ぶ九州教室事務局(担当: 小林)

e-mail: kyuusyuukyousitu@yahoo.co.jp(申し込みアドレスと

は異なります)

日本母乳哺育学会勉強会

●日時

2月11日(水・祝)9:00~16:30

●会場

昭和大学病院入院棟B1階臨床講堂
(東京都品川区旗の台1-5-8)

●参加費(当日支払)

◎事前申し込み(昼食付)
会員6000円, 非会員7000円

◎当日申し込み(昼食なし)

会員・非会員7000円

●プログラム

「母乳育児とアレルギー」今井孝成(昭和大学小児科)

「論文を読み解く(グループワーク)」八重ゆかり・片岡弥恵子(聖路加国際大学)

「『補足』について(シンポジウム)」

●申し込み方法

①お名前, ②メールアドレス, ③所属, ④職種, ⑤連絡先住所, ⑥電話番号, ⑦FAX番号を明記のうえ, FAX(0296-30-5560, 宛先: まつだこどもクリニック)にてお申し込みください。

公益社団法人 全国助産師教育協議会 助産学臨床指導者/専任教員研修会

【東京会場】

●日時

2月11日(水・祝)10:00~15:45

●会場

東京女子医科大学看護学部 女性生涯教育支援センター2階
(東京都新宿区河田町8-1)

●プログラム

「『CTGの判読』脳性麻痺の事例

検討から」

「母体大量出血時の対応」

「助産師と記録」

●定員

80名

●申し込み先

東京女子医科大学(担当: 潮田千寿子)

e-mail: ushioda.chizuko@twmu.ac.jp

【広島会場】

●日時

3月14日(土)10:00~15:45

●会場

県立広島大学 サテライトキャンパスひろしま(広島県民文化センター5・6階)

(広島県広島市中区大手町1-5-3)

●プログラム

「妊娠・分娩期のフィジカルアセスメント(脳神経・循環・代謝に異常をきたす疾患を中心に)」

「陣痛促進剤と輸液ポンプ(産婦人科診療ガイドライン, 産科医療補償制度の再発防止委員会の原因分析から)」

「SNSから知る情報と倫理」

●定員

100名

●申し込み先

県立広島大学(担当: 藤井宏子)

e-mail: josan0314@pu-hiroshima.ac.jp

【以下, 両会場共通】

●テーマ

助産実践能力を高める

●参加費

会員5000円(会員校実習施設指導者含む), 非会員8000円, 資料代1000円

●申し込み方法

①参加希望する開催地, ②氏名, ③連絡先(必須), ④専任教員または臨床指導者のいずれかを明記のうえ, メールにて各会場の担当者

までお申し込みください。

●問い合わせ先

公益社団法人 全国助産師教育協議会事務局

TEL: 03-3866-3017 (火・金のみ対応)

HP: <http://www.zenjomid.org/>

日本母乳の会 第10回母乳育児支援研修会

●日時

2月14日(土)13:00~18:30

2月15日(日)9:00~16:00

●場所

京都大学杉浦ホール(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻杉浦地域医療研究センター)

(京都府京都市左京区聖護院川原町53)

●プログラム

「母乳育児成功のための10か条の重要性と日本母乳の会の活動」
中野隆(日本母乳の会代表理事, 富山県立中央病院)
「母乳の栄養と免疫を知りましょう」河井昌彦(京都大学医学部研究科・医学部附属病院小児科准教授)

「母乳分泌の仕組みを理解してお母さんの支援をしよう——母乳育児にいいお産とは——BFHの実践から」佐藤文彦(山形市立病院済生館)

「母子の環境を見直し、補足について考えてみましょう——脱水、低血糖、黄疸と補足を考えよう」永山善久(新潟市民病院総合周産期センター)

「妊娠中からのイメージ作りと手入れの実際——妊娠中からの母乳育児支援が非常に重要」飯田ゆみ子(聖マリアンナ医科大学看護専門学校, 助産師)

「入院中の母子を支えるケア——出生直後の頻回授乳, お母さんに自信をもってもらうための基本的な支援——BFHの実践から」田中久美(国立病院機構九州医療センター, 助産師)

ほか

●参加費

会員1万2000円, 非会員1万5000円, 学生4000円

●申し込み方法, 問い合わせ先

詳細は日本母乳の会ホームページ(<http://www.bonyu.or.jp/index.asp>)をご参照ください。

母乳育児支援フォーラム 母親がラクになる 子育て支援

●日時

2月18日(水)13:00~16:00

●会場

つくば国際会議場中ホール
(茨城県つくば市竹園2-20-3)

●参加費

無料

●対象

医療従事者・専門家/保護者

●定員

200名(親子席もあり)

●プログラム

「『しあわせ脳』に育てよう!」黒川伊保子(株式会社感性リサーチ代表取締役)

「健やかな子どもの成長のために」水野克己(昭和大学江東豊洲病院小児内科教授)

「母親がラクになる子育て支援(シンポジウム)」

●申し込み方法

電話, FAX, ホームページ上の申し込みフォームより, ①名前, ②メールアドレス, ③資格, ④勤務先, ⑤電話番号, ⑥住所を明記の

うえ, お申し込みください。

(受付票[母乳育児支援冊子引換券付き]はがきをお送りいただきますので, 住所を必ず明記してください)

●問い合わせ先

モーハウスメディカルサポートチーム

TEL: 0120-60-77-60

FAX: 0120-473-734

e-mail: info@mo-house.net

HP: <http://medical.mo-house.jp/sympo/>

「助産業務ガイドライン2014」 普及啓発研修会

●日程

2月21日(土)

●会場

岡山大学医学部保健学科棟(鹿田キャンパス)

(岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1)

●受講料

無料

●申し込み方法

日本助産師会ホームページの研修一覧(http://www.midwife.or.jp/association/seminar_list.html)から。

または①受講会場・開催日, ②氏名, ③連絡先(住所・電話番号・e-mail)を記入のうえ, FAXまたは郵送にて申し込みください。

●申し込み・問い合わせ先

公益社団法人日本助産師会ガイドライン研修担当

〒111-0054 東京都台東区鳥越2-12-2

TEL: 03-3866-3054

FAX: 03-3866-3064

e-mail: kensyukai@midwife.or.jp

第40回全国助産師教育協議会研修会

●会期

2月28日(土)～3月1日(日)

●会場

愛仁会看護助産専門学校
(大阪府高槻市古曽部町1-3-33)

●プログラム

◎ワークショップ「学生の学ぶ力を育てる」

◎教育講演「魅力的な教員力の獲得を目指して」

◎シンポジウム「助産師教育の将来ビジョン」

ほか

●参加費

会員・会員校および会員校の実習指導者 7000円、非会員 1万円、別途資料代 1000円

●申し込み方法

全国助産師教育協議会のホームページ(<http://www.zenjomid.org>)の申し込みフォームより申し込んでください。

●申し込み締切

2月10日(火)

●問い合わせ先

愛仁会看護助産専門学校内事務局
TEL: 072-681-6031

第10回「身体感覚活性化(世にも珍しい)マザークラス」医療者向けセミナー

●日時

3月1日(日)10:00～17:00

●会場

電気ビル共創館カンファレンス 3階会議室 ABC
(福岡県福岡市中央区渡辺通2-1-82)

●テーマ

「身体感覚活性化マザークラス」の哲学と実践

●プログラム

◎講演「妊婦教育：女性脳から母性脳への変換」佐藤香代(福岡県立大学女性看護学・助産学教授)

◎食体験

◎スライドショーとマザークラス体験

●対象

助産師、保健師、看護師、医師、学生、その他

●定員

100名

●参加費(事前振込)

一般 8000円、学生 4000円

*昼食(玄米菜食弁当、スイーツ)付

●申し込み締切

2月20日(金)

●申し込み方法

件名を「第10回申し込み」とし、e-mailまたはFAXで、①氏名、②住所、③職種、④連絡先、⑤このセミナーを何でお知りになったかを記載のうえ、お申し込みください。返信 e-mail または FAX が届きましたら、下記の振込口座へご入金ください。

●振込口座

ゆうちょ銀行 17430-14470091

(郵便局以外から振込みの場合)

ゆうちょ銀行 748 支店 普通 1447009

口座名義人：フムフムネットワーク

●問い合わせ先

福岡県立大学看護学部女性看護学・助産学領域(担当：小林絵里子)

TEL/FAX: 0947-42-2073

e-mail: ekobayashi@fukuoka-pu.ac.jp

第30回東京母性衛生学会学術セミナー

●日時

3月1日(日)10:00～17:00

●会場

東邦大学看護学部
(東京都大田区大森西4-16-20)

●テーマ

現代の出産の課題から新たな助産ケアを考える

●参加費(当日支払)

◎当日申し込み

会員 5000円、非会員 6000円、学生 3000円

◎事前申し込み

会員 5000円、非会員 5500円、学生 2000円

●事前申し込み方法

①所属名、②氏名を記入のうえ、tokyobosei@yahoo.co.jp まで e-mail にてお申し込みください。

●プログラム

「現代の出産の課題から新たな助産ケアを考える」山崎圭子(第30回東京母性衛生学会学術セミナー委員長)

「高年出産に多い産科合併症——疾病の予知と周産期管理」山本樹生(日本大学医学部教授)

「助産師に伝えたい高年初産婦が求める助産ケア」森恵美(千葉大学大学院教授)

「お産はその国の文化! ——文化人類学からみた現代の出産」松岡悦子(奈良女子大学教授)

「“出産力”をチーム医療で見極める! (シンポジウム)」

ほか

●問い合わせ先

東邦大学看護学部看護学科 家族・生殖看護学研究室(第30回東京母性衛生学会学術セミナー担当：山崎圭子)

情報お待ちしています。

告知したいイベント、セミナーなど編集室にお寄せください。開催日の約2か月前にFAX、郵送、e-mailなどでお送りいただけると幸いです。
〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 医学書院「助産雑誌」編集室/FAX.03-5804-0485/e-mail.josan@igaku-shoin.co.jp

TEL: 03-3762-9317

第21回日本SIDS 乳幼児突然死予防学会

●会期

3月6日(金)・3月7日(土)

●会場

松本市中央公民館(Mウイング6階)
(長野県松本市中央1-18-1)

●テーマ

正常と異常の境界：あなたはどうか判断しますか？

●参加費

医師 5000 円、医師以外 2000 円
懇親会費 3000 円

●連絡先

長野県立こども病院臨床検査科
TEL: 0263-73-6700
FAX: 0263-73-6710

帝王切開分娩の情報提供の あり方を考えるシンポジウム 女性はいづ、どのような情報 必要としているか？

●日時

3月8日(日)13:00~16:30

●会場

中部大学名古屋キャンパス 6階
大ホール
(愛知県名古屋市中区千代田5-14-22)

●プログラム

◎特別講演「帝王切開分娩に関するトピックと医師による情報提供」
竹内正人(東峯婦人クリニック副院長)

◎シンポジウム

「どこに？誰に？わからないことだらけの帝王切開」細田恭子(帝王切開カウンセラー、「くもといっ

しょに」主宰)

「選択的帝王切開の初産婦はどのように情報収集しているか」竹内佳寿子(園田学園女子大学人間健康学部)

「帝王切開を経験した女性の次子の出産選択における情報提供：共有意思決定支援の視点から」鳥越郁代(福岡県立大学看護学部)
コーディネーター：横手直美(中部大学生命健康科学部)

●対象者

医療関係者(助産師、保健師、看護師、医師)、一般の方、学生

●定員

100名(先着順)

●参加費

無料。託児あり(託児料無料。お子さま1人につき保険料100円)

●申し込み方法・締切

2月末日までに、①氏名、②所属、③職種、④託児希望の有無、⑤年齢を明記してe-mailかFAXにてお申し込みください。

●問い合わせ先

e-mail: info.cs2015@gmail.com
FAX: 0568-51-5370

第29回日本助産学会 学術集会

●会期

◎プレコンgres
2015年3月27日(金)

◎大会

2015年3月28日(土)・29日(日)

●会場

きゅりあん(品川区立総合区民会館)
(東京都品川区東大井5-18-1)

●テーマ

社会をうごかす助産のちから——女性、母子と家族への切れ目ない支援を実現するために

●会長

島田真理恵(上智大学総合人間科学部看護学科)

●参加費(当日)

会員1万2000円、非会員(医療専門職)1万5000円、学生5000円

●問い合わせ先

株式会社日本旅行ECP営業部
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 虎ノ門マリビル11階
TEL: 03-5402-6401
FAX: 03-3437-3955
e-mail: jam_2015@nta.co.jp

第11回ICMアジア太平洋 地域会議・助産学術集会

●会期

7月20日(月)~22日(水)

●会場

パシフィコ横浜
(神奈川県横浜市区西区みなとみらい1-1-1)

●テーマ

すべての妊産婦と赤ちゃんに助産師のケアを

●参加費

◎早期事前登録3万円(~4月30日)

◎通常事前登録4万円(5月1日~6月17日)

◎当日登録5万円(7月20日~7月22日)

◎学生は全登録期間において、以下の料金です。

助産学生5000円、大学院生1万円

●問い合わせ先

第11回 ICMアジア太平洋地域会議・助産学術集会 運営事務局
〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル
TEL: 03-5216-5318
FAX: 03-5216-5552
e-mail: icm2015aprc@congre.co.jp